
なんとなく。

林檎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

なんとなく。

【Nコード】

N4383B

【作者名】

林檎

【あらすじ】

こんな歌があつたらいいな。なんてね。笑。短いんでさらっと、いや良ければじっくり読んでみてください。

いつかその時は

綺麗に死にたいと

誰かが言っていました

だけど毎日死にたい死にたいって呟いてるこんな私でも
最期は死にたくねえって無様に泣き叫ぶと思うな

カレンダーに丸が付いてるんだ

緑と水色の

テストの日

バイトの日

いつかみたいないな記念日は、もうここには無いよ

私は寂しい

色んな人がぼろっと流すんだ

夢とか希望とか

それが面白くなくなって人も人は生きてくしかないのかな
歩いたら余計に寒いよ

迎えに来てくれないのかな

つつ立ってても寒いよ

カフェインとアルコールは良くないよ

体に良くないよ

ニコチンとタールは良くないよ

切れないって言った人ほど切れていくよ

私はハサミだったのかもしれない

同じ匂いがする人だと思ったら
煙草が同じだけだったよ
私は結局一人だったのかな

綺麗なハイヒールを履きたいよ
暗闇でも分かるような

好きな歌が欲しいよ
そこに

あたしが居るような

ご飯食べなくても
お金無くなるよ

別に自分さえ良ければいいから
他の人はどうでもいいから
けどそんな風に出来ないのは
結局自分が可愛いから

雪の降らない場所でも
雨が止まない場所でも
フロリダでも

私の中にはあるよ
色んなものが降ってるんだよキラキラしてないんだよ

明日を生きる理由が欲しいよ
欲張りな私の
神はそんな望みさえ叶えてくれないよ

あの時
後ろから抱きしめたのは

私と同じ目線に

したかったからではないのですか

それとも見えたのですか

私の中身が

だから

あなたは消えたのですか

寂しいのはどの道同じだけど

居た方がまだ

楽しかったよ

明るく締めるつもりはないよ

だってこれが私だから

今確かに言えること

そんなもの見つからないよ

だけど

あなたの過去に

私が少しは歩いてるなら

手に息を吹きかけながら

小さくなって歩いてるなら

ちよっとそれは

良いかな

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4383b/>

なんとなく。

2010年10月12日02時23分発行